

「筑豊ブロック少年団体等指導者研修会（兼）福岡県プレイリーダー２級研修会」事業報告

- 1 事業名 平成30年度筑豊ブロック少年団体等指導者研修会（兼）福岡県プレイリーダー２級研修会
- 2 期 日 平成30年6月24日（日）
- 3 参加者 29名
- 4 日 程

時 程	内 容
9：45	受付
10：00	開会行事
10：15	【研修1】（領域Ⅰ指導者のあり方、Ⅱ子どもの安全管理、Ⅲ子どもの体験活動） 「子どもの体験活動としての野鳥観察のポイント～身近な野鳥観察を通して～」 福岡県鳥獣保護員 木村 直喜 氏
12：00	【研修2】（領域Ⅱ子どもの安全管理） 昼食含む 「野外活動の安全管理」 筑豊教育事務所社会教育主事補 帆足 梓
13：00	【研修3】（領域Ⅰ指導者のあり方・Ⅲ子どもの体験活動） 「子どもの体力の現状と身体能力を高める体験活動について」 福岡県体育協会クラブアドバイザー 内田 満 氏
15：00	閉会行事
16：00	※プレイリーダー２級認定証交付式

5 活動の実際

研修1

(1) 内容

研修1では、野鳥観察をする際の指導者としての心構えや安全管理についての講義を実施した後、田川市白鳥ふれあい自然公園へ移動して、実際に野鳥観察を行いました。移動途中にも講師の解説があり、双眼鏡で野鳥観察したり鳴き声に耳を澄ましたりしながら野鳥観察の魅力を実感できました。自然公園では、野鳥観察用に設置された観察窓から望遠鏡で池にいる鳥の様子を見たり近くの木にとまったホオジロやモズを双眼鏡で観察したりして、身近な野鳥の魅力を知ることができました。

(2) 活動写真



野鳥観察の安全管理や心構えの説明をする講師



観察窓から望遠鏡で池の野鳥を観察する参加者

(3) 参加者の声

- 野鳥を双眼鏡で観察する体験を通して子どもたちにも体験させてやりたいと思いました。外で出かける楽しみも増えました。ありがとうございました。
- 身近な場所でちょっと耳を澄ませば鳥の鳴き声や木々の音など意識すればとても楽しいことが見つかる。子どもたちにもそんな時間を過ごしてもらいたいと思いました。
- 鳥に着目することは日常になかったので、参考になりました。子ども達への活動に還元したいと思います。

研修2

(1) 内容

研修2では、野外の安全管理の内容で昼食時に子どもへの指導で気をつけたいことについて、はじめに「あ」がつく4つのキーワードを提示する方法を紹介しました。キーワードを絞って提示することや、スケッチブックにキーワードを貼り付けて提示するなど、子どもへの指導には効果的であると説明があり、参加者は熱心にメモをとっていました。

(2) 活動写真



スケッチブックで示した「あ」



スケッチブックで示したキーワード

(3) 参加者の声

- スケッチブックでの気をつける事の紹介とか、集合時間の案内など、事前準備の時点で子どもたちに考えさせて用意させるというのも良いかなと思いました。
- 当たり前のことを改めて理解できました。また、アレルギー問題の重要性が自分の幼少期よりさらに重視されていたりと時代の変化も感じました。
- 4つの「あ」を頭に置いて行事でどこか子どもたちと出かける際に気をつけたいと思います。

研修3

(1) 内容

研修3は、子どもの体力の現状と体力を向上させる体験活動について講義と実技を実施しました。講義では、近年プロスポーツとして海外で人気のeスポーツ（ゲーム）等、これまでスポーツとしてみられていなかったものがスポーツとして取り上げられている現状が紹介されました。また、体力テストの結果だけで測ることのできない、日常生活を送るための体力や他者とコミュニケーションをとる力が不足している現状、体力と学力の関わりについて具体的な説明がありました。

講義の内容をうけて、体力とコミュニケーションの力を高める実技をしました。声での指示と体の動きを対応させるものから、声の指示と反対のことは行うもの、一人で行うものから、二人、四人と人数を増やして挑戦する等、易しいものから徐々に難しい実技に挑戦していきました。講師の指示と反対のことはする動きでは、すぐに反応できずに失敗することもありましたが、参加者は笑顔いっぱい活動していました。

(2) 活動写真



運動について説明する講師



講師の説明を聞く参加者

(3) 参加者の声

- やはり子どもたちは外で体を動かすことが大切なのだと改めて考えさせられました。まずは、大人も楽しんで活動したいと思います。
- 体力がなければ学力も伴わない。心、体を動かすのに体力が必要だと言う事を学びました。子ども達の遊びを通して体力維持になるような時間を作りたいと思いました。
- 運動の大切さをあらためて実感しました。ジャンケンは楽しかった！頭とからだの別々の行動がうまくいかなくて、コミュニケーションとるのに使うのにも楽しくやれそうです。

6 全体をとおして

子ども会育成者や教育委員会関係者、アンビシャス・青年リーダー、大学生、一般参加者など様々な方々が参加し、子どもの指導者としての心構えや安全管理、体験活動の知識・理解を深めることができました。また、実技を通じて野鳥観察の魅力や仲間で力を合わせて運動する喜びを体感することができた研修になりました。この研修で、筑豊地区からプレイリーダー2級取得者が、新たに15名誕生しました。

7 活動の様子



移動中に池の野鳥を双眼鏡で観察する参加者



空を見上げてさえずるホオジロ



右手と左手でグーとチョキを入れ替える参加者



ペアで掌を合わせてじゃんけんをする参加者



ペアで足じゃんけんをする様子



ペアで両手をついて足じゃんけんをする様子



講師の声の指示に合わせて手を重ねる実技



同じ実技を人数を増やし片手→両手と難易度UP



目を閉じてその場足踏みを百回する相手を見守る参加者



4人組で講師の指示を声に出して動く実技